



榎原郁恵の

ケーブルテレビ 町歩き

第37回

●藤原 努 (株)ホリプロ 番組プロデューサー

いきなり個人的な話で恐縮ですが、私は昭和62年にホリプロに新卒入社して、最初にマネージャーとして担当したのが榎原郁恵でした。爾来30年以上に渡り彼女の芸能活動の変遷なども見て参りましたが、今担当させていただいている『町のお嬢さん』は、実は彼女の資質や性格に最も合っている番組のひとつではないかと思っております。なぜなら、彼女は本当に「人が好き」な人間なので、この番組の毎回の撮影でケーブルテレビの方々や町の人たちとの一期一会の邂逅が心底楽しくてしょうがなく、その温度が画面にも正直に現れ、見る人を引きつける結果になっているのだと思います。そんな訳で、榎原郁恵本人もこの番組のロケをことのほか楽しみにしているという事情もありますので、これからもどんどん呼んでいただけたら幸いです。



室 峰嘉

ターナージャパン(株)
取締役バイスプレジデント

ターナージャパン(株) スタッフのコメント

『町のお嬢さん』制作に際して、各ケーブルテレビ局の皆様にはいろいろとご協力いただき改めて御礼申し上げます。旅の楽しみのひとつに“出会い”があると言いますが、ケーブル局の方々とも郁恵さんとは初対面のはずなのに、初めてとは思えないような笑いの絶えないアットホームな雰囲気の中ロケ現場となり、この“出会い”も番組の魅力に繋がっていると思います。郁恵さんはデビュー当初から私たち世代の男性にはもちろんですが、全国どこのロケに伺っても老若男女を問わず幅広い層から「郁恵ちゃん」と呼び掛けられ、変わらず親しまれている存在です。旅チャンネルもそんな郁恵さんのような存在でありたいと、いつも思っております。私自身、局舎を訪ねて何度か伺ったことがあるはずの町を改めて番組で見て、また新たな発見をする、個人的な楽しみにもなっています。

お声が掛ければ私も郁恵さんとともに伺います！ぜひ今後ともよろしくごお願い致します。